



社会福祉法人 長野県社会福祉協議会

「福祉だより信州」は共同募金の  
配分金で発行されています。



昭和27年1月11日  
第三種郵便物認可第758号  
平成30年8月25日発行  
(毎月25日発行)

# 福祉だより 信州

No.  
**758**  
2018 9月号

よっ!新風人



## CONTENTS

- みんなで取り組む地域共生・信州 2
- 福祉保険サービス広告 5
- 県社協情報局 6
- おらほの縁パワー活動! 7
- よっ!新風人・今月の逸品・ざわめくアート 8



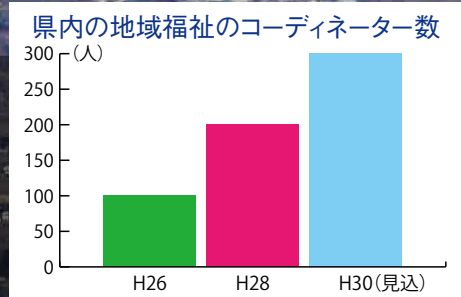
# 地域福祉の コーディネーターが増加中!!

～住民主体の地域づくりを目指して～

今、各市町村で「我が事」の地域づくりを進めるため、住民主体の地域づくりを支援する「コーディネーター」という専門職が、増えています。

様々な福祉課題を住民と一緒に、まるごと受け止め、一緒に考えてくれる心強い存在です。

多様な制度に基づいて配置され、各地で活躍する地域福祉のコーディネーターを取材しました。



※詳しくは4頁の図参照。



社会福祉協議会に配置された8名のコーディネーター。写真後列左から二人目が西澤さん。

## 8名の地域福祉コーディネーターが、 各地区をきめ細かに支援

### 箕輪町

人口約25,000人の箕輪町では、全15地区に対して8人の地域福祉コーディネーターを社会福祉協議会に配置し、住民に身近な圏域で包括的な支援体制の構築に取り組んでいます。西澤コーディネーターにお聞きしました。

猫のおじさんから〇〇さんへ

町内の60代の独居男性から生活に困窮し社会福祉協議会に相談があった事例です。担当地区の西澤さんがお話を伺うと猫が増えて困っているとのこと。処分じゃなくて、猫の預かりボランティアを探したことで信頼関係を構築。自宅を訪問すると、荷物等があふれた中で40匹以上の猫と暮ら

している様子でした。そこで、地区の民生委員さんに相談すると、10人近くのボランティアを集めて頂き、本人も支援者も地域住民も一緒に汗を流して片付けを行いました。活動後に地域の方から「この方の名前を覚えてください」と声をかけられ、猫のおじさんではなく〇〇さんと呼んでいただけになったのが嬉しかったと振り返っています。

### 地域福祉コーディネーターとは

地域福祉コーディネーターとして大切にしていることは「想像と創造」と話します。「地域で孤立している方は、周りからいい風には言われていないことが多いので、いろんな噂があってもまっさらな状態で会いに行き、本人の本当の想いを考えることを大切にしている。そして、こちらの思いだけで支援するのではなく、困りごとを一つ一つ整理をしながらゆっくり時間をかけ、関係性や社会資源など無いものは作っていく必要がある」と語っていました。

地域福祉コーディネーターは、①地域からの相談を受け止め、②真の課題を把握し、③地域と課題を一緒に考え、④住民の力を引出し、⑤専門職とも繋ぎながら、⑥誰も排除しない地域づくりを進める専門職です。県社協では、地域共生社会の実現を目指す上で、核になる存在と考え、普及と養成に取り組んでいます。(県社協まちづくりボランティアアセンタ)

## 御代田町

### 住民主体の介護予防事業を 生活支援コーディネーターが支える



生活支援コーディネーター 山本重嘉さん(事務局長)・重田重邦さん

「お年寄りも、支える側も、元気でいられたら」と話すのは「NPO法人御代田町はつらつサポーター」の山本事務局長。介護保険の生活支援コーディネーターを兼ねています。御代田町は、人口約1万5千人で、要支援・要介護認定率が県内で最も低く、全国の市町村でも12位と健康を誇る町です。この要因の一つが「はつらつサポーター」の活動です。町が平成21年度から開講している生活・介護サポーター養成講座の修了生が自主的に健康体操を開発、教室を実施してきました。

#### 「総合事業」の担い手に

平成27年度、介護予防・日常生活支援総合事業導入に伴い、こうした実績を踏まえて、同会が要支援者向け「はつらつ介護予防教室」を受託。現在、5か所で月1回開催しています。また、住民ニーズが高かつ

た移送支援サービスを実施するため、生活支援コーディネーターとして山本さん、重田さんが同会の事務局に加わり、活動のキーマンとなっています。

#### 豊富な人脈を生かしたコーディネート

お二人は、利用者のニーズに合わせて60人のはつらつサポーター(有償協力員)や、移送サービスドライバーの活動を調整し、年間1200回を超える移送支援サービスを支えています。また、行政や町社協、民児協、NPOなど関係団体が集まって地域課題を共有する「地域支え合い会議」もコーディネート。

「気軽に寄り合える地域づくりをしたい」と山本さん。豊富な人脈を財産に、人と人をつなぎ、ニーズを拾い、地域福祉の基盤を支えています。支える側も楽しんで活躍できる地域共生社会の一つの形です。

高齢者のニーズに応じた生活支援サービスを整え、住み慣れた地域で安心して生活できる地域づくりのために、平成27年度から各市町村で配置が始まったのが「生活支援コーディネーター」です。現在179名の方が県内各地で活動しています。地域を知り、地域の力を活かす、地域をつくる大きな役割を担っており、地域の方々、関係機関、社協、行政等々との協働が不可欠です。あなたの地域の生活支援コーディネーターにお困りごと等話してみたいかがでしょうか。(県健康福祉部介護支援課)

## 県長寿社会開発センター (10地区の県保健福祉事務所内)

### シニアの力を社会に活かす シニア活動推進コーディネーター



「おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に学ぼう遊ぼう」のイベントにて。右上が齊藤さん。

県長寿社会開発センターでは、県内10圏域に「シニア活動推進コーディネーター」を配置し、シニアの社会参加を応援しています。長野圏域を担当する齊藤さんに聞きました。

#### 社会参加のきっかけはふとした会話から

遠足の付き添いボランティアに参加したシニア女性には、「今日のお弁当はお兄ちゃんが作ってくれた」「おばちゃん、僕もだよ」と話す子ども達の声の背景に「ひとり親家庭」がこんなに身近に多いことを実感し、「子ども食堂」の大切さに気づきました。

活動の現場では、地域の実情が見えてきます。コーディネーターが寄り添うことで、ちょっとした「気づき」が「学び」につながる。1人の気づきに周りの気持ちも変化していき、どんな「化学反応」が進んでいくか、今、期待しているところです。

#### シニア活動推進コーディネーターとして

シニアの「何かしたい」「やってみたい」「それくらいならできるよ」のつぶやきを拾い、「できることを、自分らしく、無理せず」を意識しながら、窓口となり橋渡しをしています。

ただつなぐだけでなく、気づきや想いを大事に、その後のフォローや活動の発信も大切にしています。齊藤さんは、「シニアの皆さんには力があります。その力を借りることで、地域も豊かになる。そして何よりも、ご自身の生き方が変わってきます」と熱く語っていました。

各圏域ごとに、シニアに係る多様な組織や団体を集めた情報交換会を企画するなど、関係機関との連携・協働を仕掛けることで「シニアの社会参加促進」に向けた仕組みづくりを行っています。

シニア活動推進コーディネーターは、シニアの皆さんの主体的な気持ちづくりを直接的、間接的に様々なツールで働きかけています。

またシニアの社会参加につながる関係機関を広域にとらえ、多様な組織、団体との連携で社会参加推進につながる場を提供し、関係機関への意識づくりにも取り組んでいます。

誰もがその人らしく暮らせる地域づくりへ向けて、身近な地域の様々な分野のコーディネーターの皆さんと今後ますます連携をしていきたいと考えています。よろしくお願ひします。(県長寿社会開発センター)



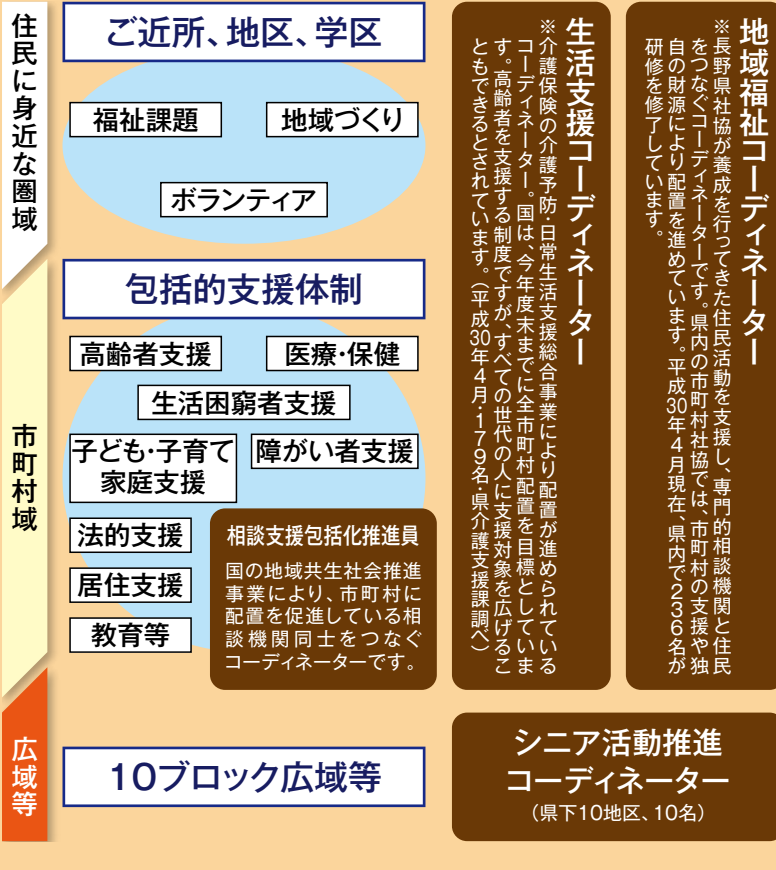
## コーディネーターの役割

地域福祉を支えるコーディネーターは、人々が生活していく上で生じ得る課題を地域生活課題としてとらえます。そこに住んでいる地域住民の意思や選択を尊重し、住民自身が地域生活課題を我が事として捉え、主体的に自分たちの地域課題解決にあたっていくことができるようプロセスを支えるの

がコーディネーターの大切な役割です。

また、一方で地域には絆もあれば、しがらみもあります。特に、地域から排除されたり、強く拒否されている人を支えるために、コーディネーターには、ソーシャルワークという専門性に基づいて、地域に介入していく力量が求められます。

## 県内の地域福祉のコーディネーターの状況



※表紙のグラフは、市町村社協に配置された「地域福祉コーディネーター」と「生活支援コーディネーター」を合計しています。

## コーディネーター増加の背景

今、複合的な問題を抱える世帯が増えています。例えば、民生・児童委員からは、「母親と無職の息子、障がいのある娘を、それぞれの専門相談機関につなぐが、個別に支援に入るため情報共有されず困っている。」というような悩みが寄せられることが少なくありません。

このような中、国においては、地域共生社会の実現を目指し、包括的な支援体制を構築するための核となるコーディネーターの配置を促進しています。今、地域福祉、介護保険、子ども支援など様々な福祉分野において地域包括支援センター、社会福祉協議会、社会福祉法人、NPOなど多様な相談機関にコーディネーターの配置が進んでいます。

これらの新たに配置されたコーディネーターが住民とともに地域を飛び回り、コーディネーターらしい仕事ができるかどうかは、民生・児童委員をはじめとする地域福祉関係者の支えも必要になってきます。

## コーディネーターの養成のために

住民活動を支援するコーディネーター

## 地域福祉のコーディネーターの活躍を応援します。

地域福祉コーディネーター養成研修(6月～3月 全14講座)



今まで以上に研修テーマを増やし、多くの方が地域福祉のコーディネーター力高められるようなプログラムを用意しています。

9月4日(火) 講座④「会議の場に活かされるコーディネーション」  
10月14日(日) 講座⑤「まちあるきワークショップ」他  
詳細は <http://www.nsyakyo.or.jp/news/2018/08/30-2.php>

ターは、今後、福祉のみならずまちづくりや、就労支援、地域振興等様々な分野で充実が図られていく見込みです。これらのコーディネーターが連携を図り相乗効果をもたらしていくために、福祉や社会教育、まちづくりなどに多様な分野が連携して、コーディネーターの養成と交流の仕組みづくりが重要です。

現在、県においては長野県地域福祉支援計画の策定が進められています。このような機会も活かしながら、コーディネーターを育てる信州らしい仕組みをみんなで作り上げていきましょう。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成30年度

# ボランティア活動保険

全国200万人  
加入!!

## 保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	1,400万円	
	後遺障害保険金		1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	100,000円
		外来の手術		32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ			
賠償責任の補償	葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)		
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		

## 年間保険料(1名あたり)

タイプ		プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ			350円	510円
天災タイプ※ (基本タイプ+地震・噴火・津波)			500円	710円

http://www.fukushihoken.co.jp

ふくしの保険

検索

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

## 保険金をお支払いする主な例



## ボランティア行所用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

## 送迎サービス補償

(傷害保険)

## 福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

### 団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事  
保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL: 03(3349)5137  
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

### 取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763  
営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)  
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(SJNK17-16970 2018.1.9作成)

平成30年度

社会福祉施設  
総合損害補償

# しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の

## 事故・紛争円満解決のために!

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

### プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険)

#### 1 基本補償(賠償・見舞)

▶保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
	新設 徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
お見舞い等	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度 死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円
	傷害見舞費用		

保険期間1年

#### ▶年額保険料(掛金)

定員		基本補償(A型)
補基本	1~50名	35,000~61,460円
償本	51~100名	68,270~97,000円
(A型)	以降1名~10名増ごと	1,500円
付見舞費用(B型)	基本補償(A型) 保険料	[見舞費用加算] 定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円



です。 充実した補償と 割安な保険料

スケールメリットを活かした

### プラン2 施設利用者の補償

### プラン3 施設職員等の補償

### プラン4 社会福祉法人役員等の補償

◆30年度新設 クレーム対応サポート補償(プラン1-①オプション4)

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、個人情報取扱事業者賠償責任保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

### 団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事  
保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL: 03(3349)5137  
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

### 取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763

(SJNK17-17293 2018.1.12作成)

福祉・介護事業所の人材確保・定着を目指す



# 信州福祉事業所認証・評価制度

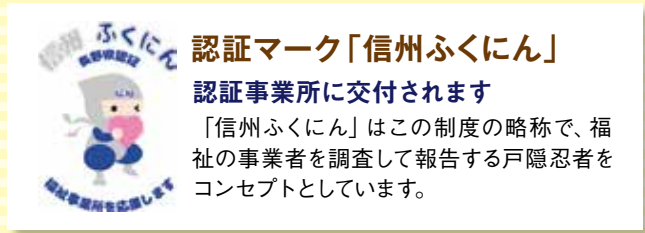
福祉・介護人材の確保と定着を図るため、キャリアパス構築や人材育成、職場環境の改善等に主体的に取り組む福祉事業者を認証、公表する、「信州福祉事業所認証・評価制度」を長野県の委託により実施しています。

この制度により、求職者に対して入職の判断につながる情報発信を行うとともに、福祉事業者全体の意識改革を促し、職員の就労環境や処遇等の向上を図ります。

福祉・介護事業を実施する法人・事業所の皆様、まずは「取組宣言」から始めませんか？

## 1.どんな制度なの？

キャリアパス構築や人材育成、職場環境改善等の取り組みが一定水準以上にある福祉事業所を知事が認証します。認証された法人・事業所には認証書が交付されるとともに、専用サイトに情報が掲載されます。



## 2.制度の意義は？

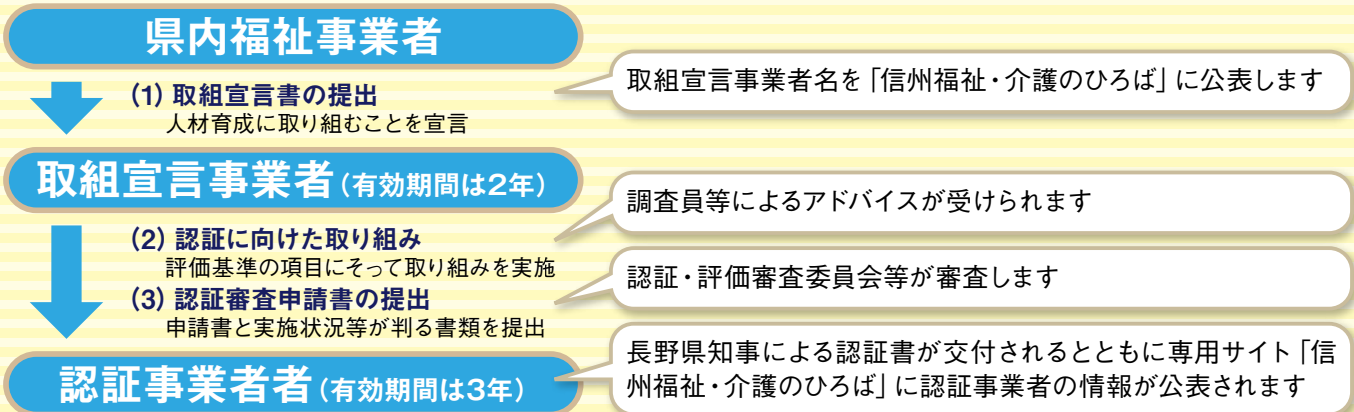
- ①一定の評価に基づく事業者の「見える化」が進むことで、若年者を中心とする求職者が福祉・介護の仕事を目指すようになります。
- ②事業者が自らの取り組みを見直し、認証・評価を受けることで採用活動、職場環境改善の取り組みを後押しできます。
- ③制度の構築・運用により、業界全体の意識改革を促し、具体的な改善行動に結びつける契機とすることで、人材確保・定着の取り組みを底上げします。

## 3.他県での実施事例と成果は？

京都府では「きょうと福祉人材育成認証制度」を推進し、平成30年8月20日現在で268施設が認証を受けました。認証事業所からは以下のような声が挙がっています。

- 認証事業所として職員一人一人の意識は高まってきており、中でも外部研修への自発的・積極的な参加により自己研鑽に努めるスタッフが増加してきたように思われる。
- 今まで以上に働きやすい職場となり、離職者が減少した。
- 「認証事業所」という分かりやすい形で一定の評価を頂いていることを説明できるので、より事業所に対する信頼感が増したと感じる。

## 4.認証取得までの流れは？



詳しくは

長野県社会福祉協議会 福祉人材部 人材グループ  
TEL: 026-226-7330 E-Mail: jinzai@nsyakyō.or.jp



長野県の福祉人材総合ポータルサイト

信州福祉・介護のひろば  
<http://fukushi-nagano.jp/>







# 長野を少しずつ もっと良くする!

## 学生のパワーが地域を彩る

連絡先 ユースリーチ youth reach事務局:特定非営利活動法人長野県 NPOセンター  
TEL.026-269-0015 FAX.026-269-0016  
mail:youth@npo-nagano.org



長野市には「長野を少しずつもっと良くする!」をモットーに地域とつながって活動を行う若者の団体があります。その団体は「ユースリーチ」その名のとおりに、若者が考え、うごき「やりたい」を形にする活動を行っています。ユースリーチは「若者とNPO団体をつなげよう」という思いから始まり高校生や大学生、それをサポートする社会人が参加し、活動を行っています。立ち上げ当初は、学生自身が地域の課題を考え解決のためのアクションを行う形で進めていましたが、取り組む課題を一つに絞る難しさや「何をするか分からないと参加しにくい」という声から、いくつかのテーマを決めてそれに沿った活動を行う形にシフトし、現在では「こども応援部」「地域ユニバーサル部」「保護猫部」「環境部」「シニアお助け部」「ファンドレイジング部」の6つのプロジェクトを進めています。学校の枠を越え「おもしろそう」の気持ちをもって地域へ集い、今年で3年目となりました。

今回、取材させてもらったのは「地域ユニバーサル部」長野市へ訪れる外国人観光客を対象に地域のマップづくりを行います。この日は4名の学生が自主的に、実際に外国人観光客から観光マップのニーズを聞いてみようと思っていました。

長野駅から善光寺にかけて気温30度を越える真夏日の中、キラキラの笑顔でさわやかに「どこからきたの?」「長野に何をしに来たの?」「困っていることは何?」と聞いていきます。

「疲れた～、暑い～」とぼやきながらの昼食。誰からともなく「どうだった?」「何が聞けた?」とランチミーティングが始まりました。「コインパーキングやレンタカーが困っているみたい。」「探すのに困るのかな、使うのに困るのかな。」「観光地の情報はたくさんあるから、ディスコとか穴場スポットが知りたいって言っていたよ。」と聞き取った内容を報告し合います。「実際に会って聞いてみないとわからないね。」「私たちが思っていた外国人観光客のニーズと違うね。」そこから、これからの活動に向けて活発な意見が飛び交いました。疲れや暑さはどこへやら。「楽しくなりそうだね」とまとまりました。

彼らがユースリーチへ参加したきっかけはさまざまです。興味があってやってみたかったから、卒論のテーマと重なる部分があるから、若者に人気のSNSでフォローされて調べてみたら自分の経験を活かせそうだったからなど。興味を持つきっかけ、行動に移すきっかけがユースリーチにはあり、ワクワクするアイデアを出し合いながらプロジェクトを進め、若いパワーが地域を彩っていました。



彼らの笑顔に立ち止まり快くインタビューを受けてくれる方々ばかりでした。

ボランティア  
全国フォーラム  
軽井沢2018

### 平成30年11月3日(土)～4日(日)に 軽井沢大賀ホールをメイン会場に開催!!!

地域はもちろん、学校でも、会社でも、生活の中に当たり前ボランティアやボランティア精神が息づく、そんな社会をめざし、ボランティア全国フォーラム軽井沢2018で参加者の皆さんと想いを共有し、ともに考え、全国に発信していきましょう。皆さんのご参加をお待ちしています!

フォーラムの準備状況や参加などについての詳細はコチラ

ボランティア全国フォーラム軽井沢2018

facebook / <https://www.facebook.com/karuizawa2018/>

ホームページ / <http://www.karuizawashakyo.com/>

facebook



ホームページ



分科会PR  
vol.4

### 若者がリードする社会貢献活動 ファンドレイジングの今

ボランティア等に参加する若者が「少ない!」という声を耳にします。学生や若者は本当に関心がないのでしょうか。

若者や学生が参加する意義を確認し、それを促進するためのアクションについて考えます。



# よっ! 新風人

毎号福祉の現場に新しい  
風を吹き込むスタッフをご紹介します。

社会福祉法人 山形村社会福祉協議会  
小規模多機能型居宅介護事業すばる

主事補  
神通川美帆さん



webでも  
ご覧になれます

「一人ひとりの生きがい感に満たされた生活の創造」を理念に掲げ、地域づくりに取り組むとともに、高齢、障がい等様々なサービスを手掛けている山形村社会福祉協議会。入職1年目ながら率先して動き、利用者さんにも積極的に関わっている神通川美帆さんにお聞きしました。

Q 今のお仕事の内容を教えてください。

A ここは小規模多機能型居宅介護事業所です。ご自宅での生活を中心に「通い」、「訪問」、「泊り」を組み合わせながら、その人らしい生活が送れるようお手伝いをしています。

Q 印象的だったことは何ですか。

A 「すばる」にいらつしやるときにご自宅に伺ったときで利用者さんの違うお顔が見られることです。いろんな生活の場面に関わらせていただき、ご家族ともお話ししたりすることで、その方らしい日常生活を支えることができているかなと感じます。

Q 大切にしていることは何ですか。

A 利用者さんは人生の大先輩なので、目線を合わせて丁寧にお話するよう心掛けています。「ありがとう」や「悪いね」などと声をかけて



利用者さんと積極的にコミュニケーションをとる姿が頼もしい。



天井や壁に揺れる季節の涼しげな飾りは利用者さんの手作り。



穏やかな優しい笑顔から生まれる心地よい雰囲気。



「深く相手の方を知り、より良い支援へ」スタッフの皆さん。

「ただくと、もっと頑張ろうと言う気持ちになります。」

Q 福祉の道を目指す人へ一言お願いします。

A 私自身、この4月から働き始め、覚えることもたくさんあり大変ですが、その方のゆったりした時間の中で関わりを持てるというのは素晴らしいことだと思っています。

特技の折り紙を活かし、利用者さんとも楽しんでいけるといって神通川さん。初めてづくしの2年目ですが、高い吸収力で先輩や利用者さんから学び、成長を続けています。上司も「その方らしい生活を大切にし、一人ひとりに合った支援を大切にしてほしい」と期待を寄せられました。

今しか聞けない、神通川さんの新人介護体験記。続きは県社協HPでご覧いただけます。

## 今月の逸品

### 素材と地域へのこだわり

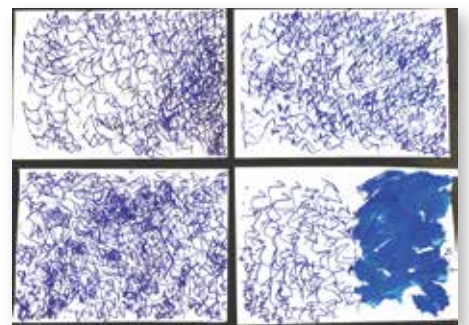
事業所内の喫茶にて、「赤とんぼワッフル」、「季節のパウンド」の販売、イベント出店の際は焼きドーナツ「こめっこリング」も販売しています。米粉、豆乳、てんさい糖をベースとした生地に、地元富士見町のえさにこだわった鶏卵やさんの卵、季節のパウンド「くるみみそ味」には、富士見町の方が手作りされたこだわりの味噌を使用するなど、どなたでも安心して召し上がれるお菓子を目指しています。

富士見町地域活動支援センター 赤とんぼ  
長野県諏訪郡富士見町落合11030-1  
TEL.0266-61-2310 FAX.0266-75-2304



赤とんぼのワッフル(5種) …120円  
季節のパウンド …150円  
こめっこリング(5種) …150円

## ざわめくアート



作者:小松 雄一(こまつ ゆういち) 34歳 諏訪市在住

青いうねるような線が、絡まるように描かれているが、作品をよく見てみると、文字の重なりであることが分かる。「ち」とは、お名前の一部だろうか、それとも…? 画面の下部から描き始め、だんだんと広がっていく。重なる濃淡が、波のようにも見え、浮遊する虫のようにも見える。住まいのグループホームでも、黙々とスケッチブックに向かうYさんである。(取材 ながのアートミーティング)

●ご感想、お問合せ、掲載希望等は下記へお寄せください。

長野県 社会福祉協議会  
総務企画部 総務グループ  
TEL 026-228-4244  
FAX 026-228-0130  
E-mail soumu@nsyakyu.or.jp

webでもご覧になれます

